

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号:11 事業名:カワウ食害防止総合対策事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「現行どおり」	<p>本県では最善の対策が行われているという説明であった。被害額を減少させることが望ましいであろうが、カワウを絶滅させてもいけないという点で非常に悩ましいところだと感じた。</p> <p>今後は近隣県との更なる連携を進めることが必要だと思う。しかし、カワウ対策に対する近隣県との温度差もあると思うので、現行どおりとした。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>全国に先駆けて素晴らしい効果を上げていることが良く理解できた。効果を上げているからこそ、より効果的なコントロール方法を今後も検討していただき、それを近隣県に広めたり、国や関東カワウ広域協議会等とも連携して、もっと広域的に取り組む姿勢でいくとより効率が良くなるのではないかと感じた。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>全国の中でも先駆的な取り組みであり、成果を上げているのは高く評価できる。しかし、その分事業費も飛び抜けて多いという実態となっているので、なんとか経費縮減を図りながら、効果を維持する方法はないかということ再度いろんな角度から考えていただきたいという意味で、要改善とした。</p> <p>現在取り組んでいる擬卵の置き換え等でカワウの減少に繋がると思うが、他県からの飛来があれば同様な対策及び費用を継続して要することになるので、今後は国や近隣県との連携にも力を入れて欲しい。</p> <p>また、全体の補助額がかなり大きくなっているので、補助対象経費や補助率の見直しを検討する等、できれば3年から5年くらいの計画で予算を縮減していくような工夫が必要ではないかと考えている。</p>